

9月定例議会を9月6日から7日まで開きました。

条例の制定や改正、補正予算、意見書案などを慎重に審議した結果、政党助成金（交付金）の廃止を求める意見書案は否決、そのほかは全て全会一致で可決しました。ここでは主なものを紹介します。平成22年度決算の認定については決算審査特別委員会に、畝保育所の移転建替整備に関する請願は福祉厚生委員会に付託しました。詳しい内容は、次号でお知らせします。

正算
補予

三迫三丁目地区の道路を拡幅

町道拡幅

六百三十万円

三迫三丁目地区の町道百三十五号線と三百十三号線の一部狭い部分を拡幅します。整備する道の長さは二十二・五メートル、道の幅は約六メートルになります。



通りやすくなります



町道313号線



町道135号線

不育治療費の助成

百五十万円

※子どもを欲しながらも不育症のため子どもを持つことが難しい夫婦に対して、医療保険適用外の不育治療を受けた場合、一年度当たり一人につき三十万円を限度に、その費用の一部を助成します。
※不育症とは、妊娠しても流産や死産を繰り返す病気。

不妊治療費の助成もあります。詳しくは、保健センターまで
TEL 823-4418 FAX 823-0020



気軽に相談してください



思いやり駐車場の利用証

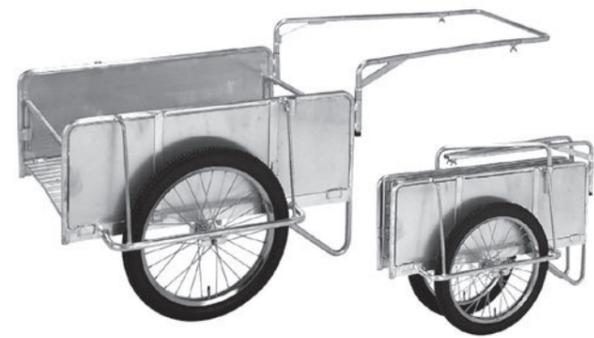
思いやり駐車場の設置

十二万円

身体に障がいをお持ちの方などのための「思いやり駐車場」利用対象者の方に、駐車場利用証の交付を行います。



おもいきり打てますよ（東小学校）



災害時に役立ちます

小・中学校の改修

小学校

六百八十七万円

中学校

六百二十万円

次の工事を行います。

- 東小学校防球ネット増設
- 西小学校防球ネット設置
- 南小学校一号館給食用リフト改修
- 海田中学校南校舎屋上防水改修

防災用リアカーの購入

五十六万円

災害防止活動などで土のうなどを運搬するためのリアカーを六台購入します。購入後は、自主防災組織などが行う防災訓練などに貸し出します。

条例

町民の安全安心を

暴力団排除条例（全会一致で可決）

暴力団は、町民生活や社会経済活動に介入し、町民や事業者に多大な影響を与えています。そのため、町民が一体となって町民生活や社会経済活動の場から暴力団を排除し、安全で平穏な町民生活を實現することを目的とし、町や町民、事業者の役割を定めています。

Q 暴力団の排除に当たって、どのようにして暴力団員やその関係者などを把握するのか。
A 海田警察署と連携していく。

Q この条例の趣旨をどうやって町民に周知するのか。
A 町広報誌やホームページなどを活用して周知する。

報告

健全化判断比率
資金不足比率

いずれも基準内

赤字や資金不足はなく、比率は法律の基準内でした。